

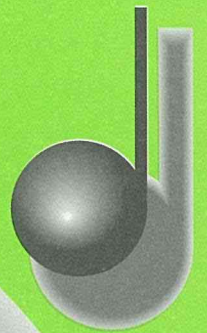
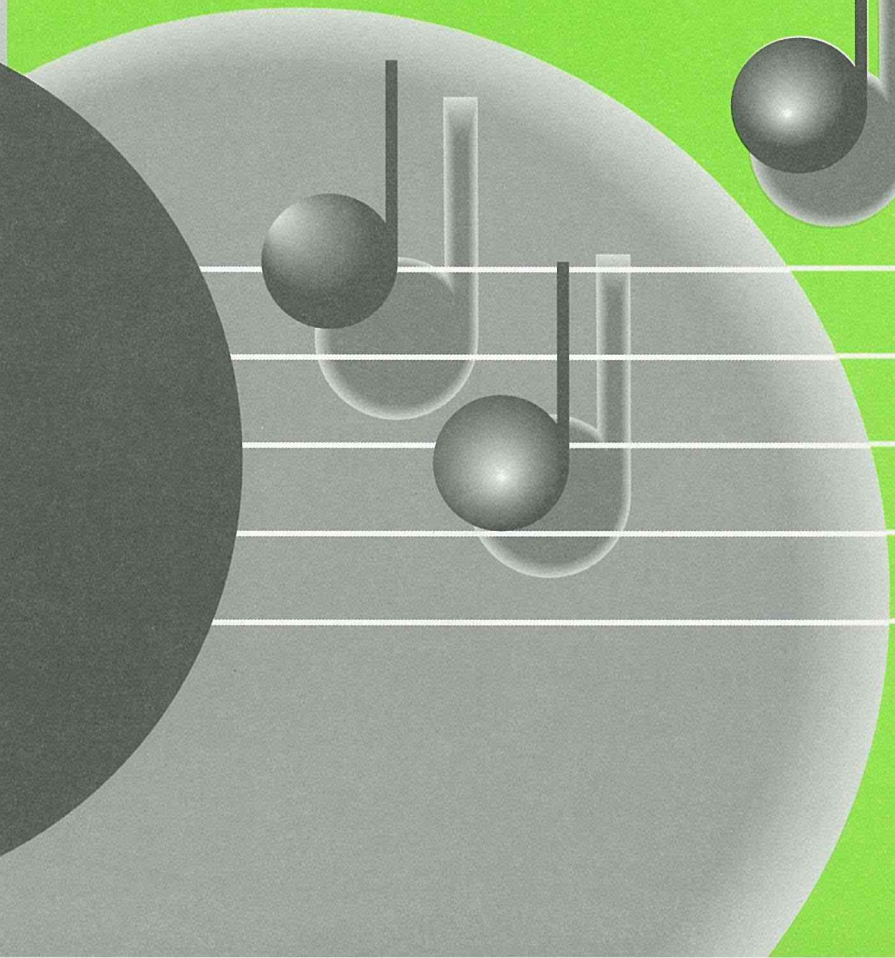
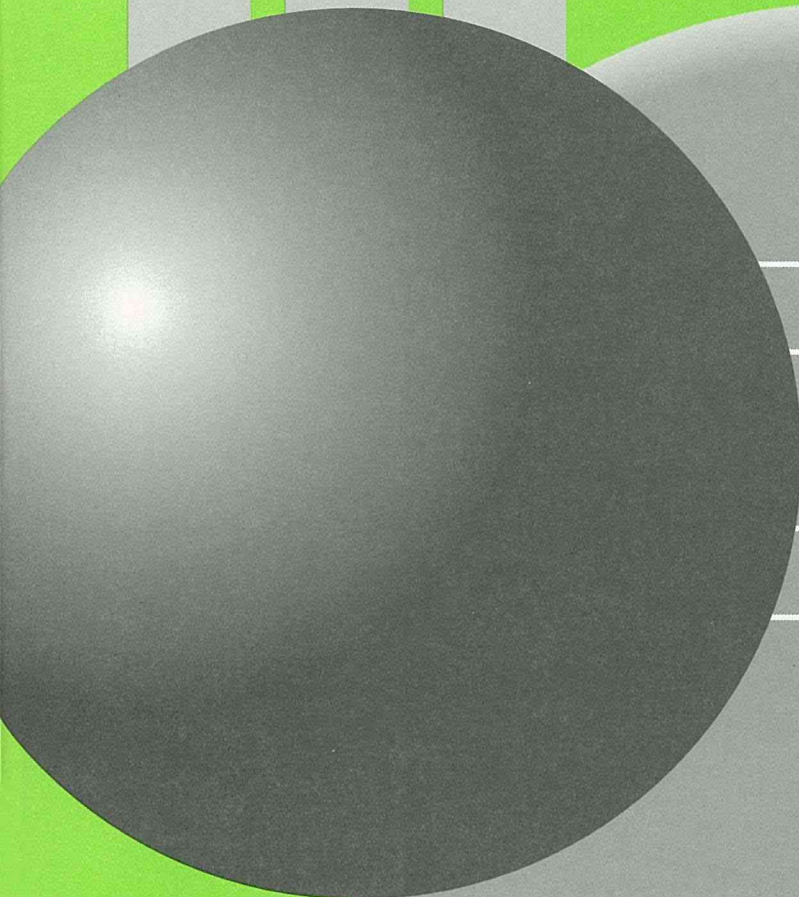
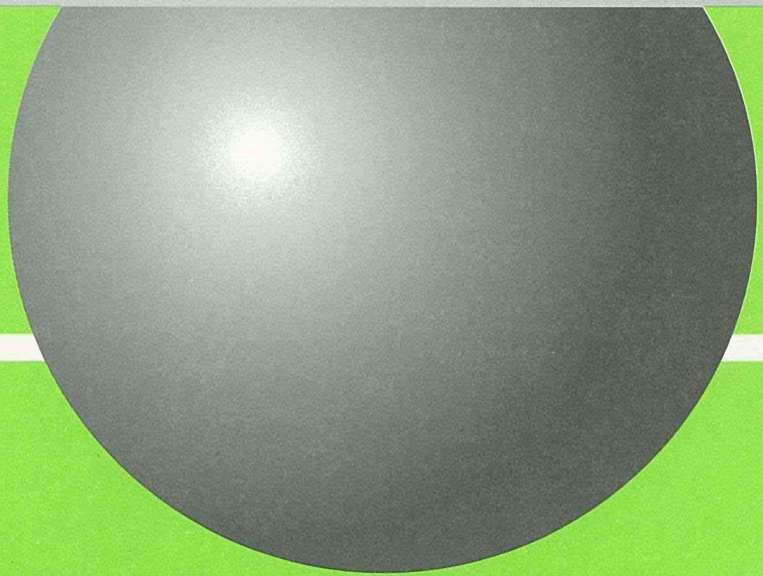
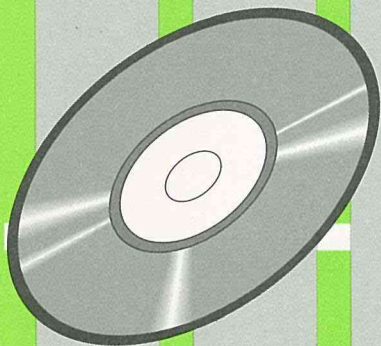
THE RECORD

RIAJ 社団法人 日本レコード協会

- 音楽文化協議会開催
- カラオケ不法録音対策委員会発足
- AVパッケージメディア消費者実態調査報告
- 耐久消費財の保有状況

1997.6

No.451



第1回音楽文化協議会開催

この度、文部省・文化庁は再販制度の存続を関係方面に訴えるため、音楽関係団体とともに「音楽文化協議会」を発足させ、その第1回会合が5月14日午前8時30分よりホテルオークラ「エメラルド」にて開催されました。音楽分野の再販制度で、行政と業界がこのような組織を設立したのは初めてで、会合には小杉文部大臣、吉田文化庁長官らのほか、実演家や作詩・作曲家、制作者など音楽業界団体の代表が出席しました。

冒頭、小杉文部大臣は挨拶の中で、橋本内閣が掲げる5つの改革（行政、経済構造、金融システム、財政、社会保障）に加えて、6つ目としてユメのある改革にしていくためには、文化的な問題を取り上げていくことが不可欠であることを強調しました。また全国どこでも同じ価格で商品を購入できる現在の制度は、多様な音楽文化を保護し地域による文化格差の解消に役立っているとの見解を示しました。

続いて、高野レコード協会長が挨拶、その中で「音楽業界は現在、大変厳しい環境下であり、その中で規制緩和の一環として検討されている“著作物再販制度”については、消費者利益の上からもその意義と必要性を強く主張する」と述べ、再販制度維持の重要性を訴えました。その後、小野文化庁次長が“著作物の再販制度をめぐる動向”について説明を行い、自由討議に入りました。

自由討議は30分を超過するほど活発に行われ、再販制度存続に向けて行政と業界が一体となって関係方面に理解を求めていくことが確認されました。発言の中では、特に日本音楽著作権協会（JASRAC）の遠藤会長が、最近の

ペルーの人質事件で、人質がギターに合わせて歌を歌うことで長い月日を耐えたことなど、音楽が如何に人の心を育み、勇気づけるものかを、本人の体験を踏まえて話され、文部大臣ら出席者の共感を得ました。

なお、当日の出席者は以下の通りです（敬称略）。

文部大臣		小杉 隆
文化庁長官		吉田 茂
(社)日本音楽著作権協会	会長	遠藤 実
(社)日本音楽著作権協会	理事長	加戸 守行
(社)日本芸能実演家団体協議会	専務理事	小泉 博
(社)日本レコード協会	会長	高野 宏
(社)日本レコード協会	理事	乙骨 剛
(社)音楽出版社協会	理事長	渡邊 美佐
(社)日本音楽事業者協会	会長	田邊 昭知
(社)音楽制作者連盟	理事長	後藤 豊
(社)日本歌手協会	会長	田端 義夫
日本音楽作家団体協議会	会長	中田 喜直
(社)日本作詩家協会	会長	星野 哲郎
日本レコード商業組合	理事長	矢島 靖夫
全国レコード卸同業会	会長	飯原 茂



著作権の再販維持で関係団体が懇談会

レコード、新聞、書籍・雑誌等、著作物の再販維持問題をかかえる諸団体による「著作権の再販売価格維持に関する懇談会」(再販懇)が、5月8日午後1時から日本レコード協会会議室で開催されました。

当日は、当協会の木村専務理事の挨拶に続いて、各団体毎に実施してきた運動の報告を行い、共通の部分を以てより大きな運動へと拡大していくこととなりました。また、消費者利益の観点に立った運動が重要なことから、今後は市民団体からの参加も得て、より消費者に伝わりやすいものにするべく、検討を行っていくことが確認されました。

懇談会は今後継続的に開催し、各団体の状況や取り組みなど情報交換を行うとともに、共同して行うことのできる運動についての早急な検討を行うことになりました。

著作権再販維持に関する懇談会 参加団体名

P A N : 芸術文化振興連絡会議

M I C : 日本マスコミ文化情報労組会議

日本新聞協会

日本新聞取次協会

日本書籍出版協会

日本書店商業組合連合会

日本レコード協会

なお、次回以降については、日本青年団協議会、日本レコード商業組合なども参加する予定です。

理事会・総会開催

5月30日、キャピトル東急「日光の間」において、当協会定例の理事会・総会が開催され、平成8年度事業報告が承認されました。

また、同会の監事が現在の笠原理事、細川理事の2名に城戸勉氏(弁護士)を加えた3名に増員されることが了承されました。

『カラオケ教室不法録音物対策委員会』発足

ここ数年来カラオケ教室で、市販のCDやミュージックテープを権利者に無断で録音したと思われるカセットテープを歌唱指導用テープとして生徒に販売したり、教室で使用する事が全国的にも広がり、業界内でも問題視されていました。

権利者であるJASRAC、芸団協、レコード協会はこれまでも一体となって啓蒙チラシの作成、媒体への意見広告等による啓蒙活動及び警告活動を行ってきました。しかしながら、より効果的な施策が必要であることから、音楽業界10団体は、この度標記委員会を5月7日付で発足させ、第1回会議を5月14日(水)午後4時より日本レコード協会会議室において行いました。

当日は同委員会役員を選出と、この件についての実務を行う組織として「実行委員会」を設置することを決め、啓蒙活動の内容、実態調査の進め方などについては早急に具体化することが確認されました。

【委員】委員長 木村三郎(日本レコード協会専務理事)

副委員長 木村 豊(日本音楽著作権協会 常務理事)

副委員長 寺本 幸司(日本芸能実演家団体協議会実演家著作権隣接権センター 運営委員会副委員長)

【構成団体】

(社)日本音楽著作権協会	理事長	加戸 守行
(社)日本芸能実演家団体協議会	会長	中村歌右衛門
(社)日本レコード協会	会長	高野 宏
(社)音楽出版社協会	理事長	渡邊 美佐
(社)日本音楽事業者協会	会長	田邊 昭知
(社)音楽制作者連盟	理事長	後藤 豊
(社)日本歌手協会	会長	田端 義夫
日本音楽作家団体協議会	会長	中田 喜直
日本レコード商業組合	理事長	矢島 靖夫
全国レコード卸同業会	会長	飯原 茂

【事務局】事務局長 丸山 善光

(日本レコード協会 特別業務部 部長)

96年度AVパッケージメディア 消費者実態調査

— クラスター分析編 —

前号に引き続き、同調査のクラスター分析結果を報告します。
現在AVパッケージメディア市場を支えている10代・20代に対する正しい認識のために、彼らの音楽に対する姿勢の違いを基に6つのグループに分類したものです。
これにより、10代・20代をマーケットとして一括りにとらえることなく、その中での違いが認識でき、有効なマーケティング戦略を立案する一助になるものと思われまます。

<p>【クラスター1】「プチ評論家」 それほど音楽を幅広く知っているわけでもないのに、誰の音楽を聴いているかによってその人がどんな人か判断してしまう人たち。音楽は好きなのに、「最近の音楽はどれも似たようなもの」なんて言ってしまう。やや内向的で、音楽をアタマを通して聴く、一言多いタイプ。</p>	<p>【クラスター4】「カラオケテープエディター」 音楽は大好きなのだが、CDは買わない人たち。彼らの音楽は、聴くものではなく、唄うもの。唄いたい気持ちと経済性。両立させるにはやっぱりテープ編集。電車の中でイヤホンから流れる音楽にリズムを取る、ちょっとチャラけたサラリーマンとちびリユックかついだ女子中学生。</p>
<p>【クラスター2】「CDお気軽購入者」 楽しむことにお金を使っちゃうのに抵抗があまりない人たち。楽しそうなことにはなんでも首を突っ込んでみる。とりあえず。音楽に関してもそうで、流行しているものが大好き。だから流行しているものを買う。 カラオケ大好き。だからカラオケ練習用にCDを買う。</p>	<p>【クラスター5】「低関与リスナー」 まるっきり音楽から遠い人たち。アンケートの自由回答は「ふつう」「特になし」のオンパレード。音楽は好きだけど、趣味とはとても言えない…。音楽だけでなく、すべてのことに欲求が低いように見受けられる彼らの一応の趣味は、釣りとプレイステーション。</p>
<p>【クラスター3】「音楽コミュニケーションツール派」 最近のちょっとカッコイイ・可愛い連中。いきがってたりして、ちょっと言葉が変だったりするけど、女の子にもてたい、男の子に好かれたいと一生懸命で、結構微笑ましい。彼らにとっては音楽も恋の駆け引きツールのひとつだったりする。真剣さが磨いた巧みな音楽とのクールな関係。</p>	<p>【クラスター6】「好きな音楽にドブプリ派」 ちょっとモデル系というかモード系というか、個性的な人たち。情報感度が高く、多くの情報から自分なりのコダワリを見つけ出す。自分のコダワリのお手本になる人を見つけたら、そのハマり方はまた格別。ドブプリ浸ります。</p>

DATA

	総合	クラスター1	クラスター2	クラスター3	クラスター4	クラスター5	クラスター6
1. 10代・20代におけるボリューム	100%	14.0%	22.8%	18.5%	19.0%	12.8%	13.0%
2. 平均年齢	18.95歳	18.1歳	20.5歳	17.8歳	19.9歳	17.7歳	18.7歳
3. 1ヵ月のおこずかい	21,750円	18,420円	30,140円	18,140円	23,000円	13,430円	22,290円
4. CD保有枚数平均							
①合計	51.0枚	60.7枚	54.3枚	45.4枚	39.1枚	28.2枚	82.2枚
②シングル	20.7枚	20.8枚	22.4枚	25.4枚	16.6枚	12.6枚	25.1枚
③アルバム	30.3枚	39.9枚	31.9枚	20.0枚	22.6枚	15.6枚	57.1枚
5. CD年間購入枚数平均							
①合計	9.7枚	11.0枚	12.3枚	9.2枚	6.5枚	5.1枚	13.4枚
②シングル	4.2枚	4.7枚	5.1枚	5.3枚	2.8枚	2.7枚	4.2枚
③アルバム	5.4枚	6.3枚	7.3枚	3.8枚	3.7枚	2.4枚	9.1枚

音楽産業・文化振興財団 MIDEM ASIAに参加

財団法人音楽産業・文化振興財団（呼称PROMIC・松尾修吾理事長）は、設立5年目を迎えましたが、アジアを初め欧米各国の音楽関係者へのアピールを図る目的で「'97MIDEM ASIA」（5月21日～5月23日）に、昨年に引き続き参加しました。

今年のMIDEM ASIAは、香港島コンベンション・アンド・エグジビション・センターで開催され、PROMICはMPA（音楽出版社協会）と共同でジャパンブースを設置し、日本の最近の音楽をアピールしました。

PROMICのブースでは、設立目的や事業内容、会員各社・団体の紹介等を掲載した英文パンフレットの配布をした他、ブース内で、96年度国内ミリオンセラー作品（シングル23作品・アルバム18作品）のCDを掲示し、日本のレコード業界の現状をアピールしました（会場写真参照）。

一方、5月21日には「JAPAN NIGHT PROMIC SUSHI-SAKE PARTY」がPROMICの主催で九龍・広東通りにある「ハードロック・カフェ」にて開催され、松尾修吾理事長、後藤豊・渡邊美佐両副理事長、及び当協会高野会長をはじめとした、500名もの方々のご出席のもと、盛大に開催されました。このショーケースには、原田知世、サニーデイ・サービス、ジャズミンwithデイスタイム、b' Rouge、レジーン（フィリピン）らが参加しました。

また、MIDEM ASIA期間中の入場者総数は、残念ながら昨年の実績の1割減と下回りましたが、参加国総数は、ヨーロッパ、アジア、アメリカを中心に43ヶ国に及び日本から100社もの企業が参加しました。業種別内訳では、レコード、出版、ディストリビューター、プロダクション、ホールセラーの順でした。

※MIDEM ASIA '97のショーケースは、社団法人私的録音補償金管理協会（SARAH）から受ける共通目的基金の助成をもとに実施したものです。



平成9年度 著作権セミナー日程決まる

「著作権セミナー」は、著作権に関する一般の理解を深めるとともに著作権思想の普及向上を図ることを目的として毎年、全国を7ヶ所に分け、各担当都道府県の教育委員会又は知事部局と文化庁との共催により開催しています。

このセミナーには、文化庁著作権課のほか、レコード協会、芸団協、NHK、民放連、JASRAC、出版社協会、映像ソフト協会、コンピューターソフトウェア著作権協会、私的録音補償金管理協会の10団体が協賛団体として、講師を派遣、講義を行います。

参加資格者は、

1. 国、都道府県、都道府県教育委員会、市町村、市町村教育委員会の職員
 2. 国公私立大学、短大、高専、小中高等学校の教員、事務職員（学校図書館の職員を含む）
 3. 著作者及び著作物利用者等
 4. その他一般の参加希望者
- となっています。

なお、平成9年度の開催県及び日程（予定）は以下の通りです。

北海道・東北地区

山形県山形市 7月10日(木)～12日(金)

関東・甲信越静岡地区

千葉県木更津市 9月11日(木)～12日(金)

東海・北陸地区

愛知県名古屋市 8月7日(木)～8日(金)

近畿地区

兵庫県神戸市 7月17日(木)～18日(金)

中国地区

山口県山口市 9月18日(木)～19日(金)

四国地区

香川県高松市 2月12日(木)～13日(金)

九州地区

福岡県福岡市 10月2日(木)～3日(金)

■第6回廃盤セール開催概要

平成9年度の廃盤セールの開催概要が決定しました。以下にその概要をお知らせします。

■開催場所

東京タワーボウリングセンター1F
「東京タワーホール」
所在地：東京都港区芝公園4-4-13

■開催日程

10月18日（土）
10時～17時（18時閉場）
10月19日（日）
10時～15時30分（16時30分閉場）

■主催

日本レコード協会加盟メーカー29社

■協賛

日本レコード協会、日本レコード商業組合、全国レコード卸同業会

■セール名

「レコードファン感謝祭'97」
－廃盤特別謝恩セール－

■販売価格

定価の70%OFF

バンダイ・ミュージック社長交替

(株)バンダイ・ミュージックエンタテインメントは、5月16日付で以下のように社長の交替がありましたのでお知らせします。(敬称略)

新任：茂木 隆

退任：笠原 壯夫

なお、笠原 壯夫前社長は、代表取締役副社長となります。

トールス・レコード 社名・住所変更及び社長交替

トールスレコード株式会社は、6月1日付を以て社名をニュートールス株式会社に変更し、住所を下記に移転しました。また、同社社長の交替がありましたのでお知らせいたします。(敬称略)

新社名：ニュートールス株式会社

新住所：〒153 東京都目黒区大橋1-8-4

ポリグラムアネックスビル2F
TEL 03-3780-6261

社長新任：荻野 欽司

退任：舟木 稔

なお、舟木 稔前社長は、取締役相談役となります。

芸団協 平成8年度芸能功労者を表彰

日本芸能実演家団体協議会は、日本の芸能文化の発展を願う立場から、長年芸能文化に功労のあった方々を毎年表彰しています。

平成8年度の芸能功労者表彰は、5月31日に東京都千代田区の東京會館において行われました。

今年表彰を受けた方々は、以下の5名の方々です。

演出家 戊井市郎
清元語り 清元富士太夫
三絃演奏家 富崎富美代
尺八漫談家 はたのぼる
俳優 藤城健太郎

ポリグラム(株)インターナショナル会長来訪

5月14日に、ポリグラム・インターナショナル会長アラン・レヴィー、同極東支配人ノーマン・チェンの両氏がレコード協会を訪問しました。

当日は高野会長、木村専務理事、千葉常務理事が応対し、最近の日本のレコード産業の状況、当協会の直面する課題などについての意見交換を行いました。

訂正 THE RECORD 5月号の「Q盤キャンペーン概要」の記事の中に誤りがありましたので訂正致します。同キャンペーン参加者(応募者)の景品の中、10万円分旅行券当選数は10名分でなく、正しくは5名分でした。

会議メモ (主なもの)

(5月1日～5月30日)

5・6 情報システム部会
5・7 制作技術専門部会
5・7 音楽文化懇談会
5・8 情報システム部会
5・8 JASRAC交渉
5・8 JASRAC委員会

5・9 レコード制作基準倫理委員会
5・12 再販プロジェクト
5・13 貸与報酬説明会
5・14 著作権部会
5・14 Q盤プロジェクト
5・14 カラオケ不法録音対策委員会
5・15 JASRAC交渉
5・15 JASRAC委員会
5・16 情報システム部会
5・16 営業部会
5・16 労政部会

5・20 Q盤制作担当者会議
5・21 業務委員会
5・21 洋楽企画専門部会
5・21 DLS WG
5・22 ビデオプロジェクト
5・22 洋楽宣伝専門部会
5・22 再販関係団体打ち合わせ
5・23 情報システム部会
5・23 邦楽制作部会
5・28 洋楽部会



1996年世界売上げ

昨年、世界の音楽市場は4%伸び、40億枚/巻、398億米ドルの売上げを記録した一方、カセットとLPの売上げは、それぞれ1%と32%ずつ減少しました。シングル市場は伸び続け、売上げで8%の伸びでした。

欧州は世界売上げの34%を占める最大マーケットの地位を守りました。一昨年より売上げの伸長率が低かった国もありましたが、全体的には昨年も好調を維持しました。

イギリスは、4年連続の成長を記録し、7%売上げを伸ばしました。中堅市場のデンマークとポルトガルは、年間伸び率が15%でした。東欧諸国の多くの国で市場は成長を続け、CDはおよそ30%、カセットは10%以上、全体では14%の成長を記録しました。

昨年、オーストラリアが14%の高い伸び率を示しましたが、アメリカと日本は低い成長率に留まりました。

ラテンアメリカは、最も成長が高い地域で、全体の売上げは約30%伸びました。ブラジルは、33%成長し、世界第6位の市場になりました。コロンビアも同様に30%近く伸長し、経済問題を抱えているにも拘わらずメキシコの音楽市場は安定しています。

アジアの9%の伸び率は、最近経験していない高い率です。特にマレーシア、台湾、タイは、すべて20%以上の成長でした。

中東の売上げの伸びは、主にトルコとサウジアラビアに起因しています。アフリカの最大市場である南アフリカは、約10%の安定した伸びを継続しています。

昨年は、発展途上市場の大きな伸びが世界の売上げに大きく貢献しました。従来の主要市場の成長は重要ですが、多くの地域の売上げ増の影響が、世界の売上げに対して重要な要素です。昨年、世界の売上げの伸びの約70%は、発展途上国、特に、ラテンアメリカやアジアに起因します。1993年にも1996年と同様の伸長を示しましたが、その時の途上国の貢献はたった20%に過ぎませんでした。

25億枚の売上げ中、アルバム売上げの60%を、シングルのおよそ75%をCDが占めています。昨年は、特に発展途上の市場で高い伸び率を維持することができました。

カセット市場は、世界的には下降していますが、東欧、アジア、ラテンアメリカでは1996年も伸長を見せており、特定地域の売上げは未だに高く、潜在性を秘めています。
(1997.4IFPI)

IFPIロシア音楽市場レポートの発行

経済発展、著作権法の執行の強化、海賊版抑制の実現などから東欧諸国の市場アクセスは、容易になり、音楽業界の機会は増大しています。ロシアは東欧最大の音楽市場で、大きな潜在性を有しており、IFPIは、政策と経済の背景の変化に対するレコード業界の将来性を分析するロシアのレポートを発行しました。

ロシアの音楽業界は19世紀の終り頃に出現し、その進展は、未成熟ながら経済を反映して、急速に成長しています。その市場は、カセットが主なフォーマットであるものの、2億3千万米ドルに相当します。CD売上げは5年前の0に近い数字から、毎年700万枚程度ずつ増えています。

国内レパートリーは、国際レパートリーよりもポピュラーですが、CD売り上げの約30%は海外のアーティストのもので、クラシック、民謡、地域音楽は人気がありますが、ポップ、ロック、ダンスミュージックが最も売れ筋のジャンルです。現在ロシアには約200のレコード・レーベルがあります。

ロシアは、国際条約を遵守する包括的な新しい著作権法を有し、法の執行方法も急速に習得しています。しかし、約70%を占める海賊版は、3億米ドルの損失をもたらし、ロシアの音楽市場発展の大きなブレーキとなっていました。ロシアの海賊版問題は、中国やブルガリアからの海賊版CDの流入によって深刻さを増してきています。ロシアの海賊版の約90%がこの2カ国からのものです。これは、隣接する国々にも影響を与え、これらのCDのうち数百万枚はロシアから他の欧州諸国に輸出されています。IFPIは、海賊版対策に積極的に関わり、多くの成功を収めています。

このレポートについてIFPI事務総長のニコラス・ガーネット氏は、「ロシアは優れた音楽の発信国としても市場としても驚異的な潜在性を秘めている。もちろん、市場構造を改革している国において危険性や困難に順応しなければならない。しかし、課題は、数ヶ月また数年先の実質的な発展を実現させるための変化の役割である。レコード産業を代表してIFPIは、この発展に寄与していく。」と語っています。

(1997.5IFPIプレス)

HIT CHART DATA

1997年4月度(97年3月21日～97年4月20日)

レコード正味売上げに基づく当協会オフィシャルデータ。

順位	タイトル	アーティスト	発売日	発売元
■邦楽・洋楽合同シングル BEST7				
1.	渚にまつわるエトセトラ	PUFFY	1997.4.16	SME
2.	Go! Go! Heaven	SPEED	1997.3.26	TF
3.	1/2	川本真琴	1997.3.21	SME
4.	本気がいっぱい/KISS YOU, KISS ME	V6/Coming Century	1997.4.3	AVT
5.	ゲンキダシテ	大黒摩季	1997.3.26	BG
6.	Give me a shake	MAX	1997.4.9	AVT
7.	そんなもんだろう	シャ乱Q	1997.4.16	BMG
■洋楽シングル BEST7				
1.	チェンジ・ザ・ワールド	エリック・クラプトン	96.7.25	WJ
2.	スーパー・ソニック・シティ	エリカ	97.3.21	DR
3.	DISCOTHEQUE	U2	97.2.3	MME
4.	TO LOVE YOU MORE	セリーヌ・ディオーン with クライズラー&カンパニー	95.10.21	SME
5.	ラヴ・ウォント・ウェイト	ゲイリー・バーロウ	97.4.9	BMG
6.	ココ・ジャンボ	ミスター・プレジデント	97.2.10	WJ
7.	アイム・イン・ラヴ	ジェニファー・ブラウン	97.4.9	BMG
■邦楽・洋楽合同アルバム BEST7				
1.	THE POWER SOURCE	JUDY AND MARY	97.3.26	SME
2.	everlasting	Every Little Thing	97.4.9	AVT
3.	WOOL	SMAP	97.3.26	V
4.	BOLERO	Mr.Children	97.3.5	TF
5.	TRIAD YEARS act2 THE VERY BEST OF THE YELLOW MONKEY	THE YELLOW MONKEY	97.4.19	C
6.	FACES PLACES	globe	97.3.12	AVT
7.	Let's Go	ウルフルズ	97.3.26	TO
■クラシックアルバム BEST7				
1.	メロディ	諏訪内晶子(Vn) フィリップ・モル(P)	97.4.9	MME
2.	「シャイン」オリジナル・サウンドトラック	デヴィッド・ヘルフゴッド 他	97.1.25	MME
3.	レスピーギ交響詩「ローマの松」「ローマの噴水」「ローマの祭り」	トスカニーニ指揮/NBC交響楽団	97.3.21	BMG
4.	ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」&第6番「田園」	トスカニーニ指揮/NBC交響楽団	97.3.21	BMG
5.	ベートーヴェン:交響曲第3番「英雄」&第4番	トスカニーニ指揮/NBC交響楽団	97.3.21	BMG
6.	ベートーヴェン:交響曲第9番「合唱」	トスカニーニ指揮/NBC交響楽団	97.3.21	BMG
7.	チャイコフスキー:ピアノ協奏曲第1番/ブラームス:ピアノ協奏曲第2番	トスカニーニ指揮/NBC交響楽団	97.3.21	BMG
■洋楽アルバム BEST7				
1.	ダンスマニア・デラックス	E-ROTIC 他	97.4.10	TO
2.	ディグ・ユア・オウン・ホール	ケミカル・ブラザーズ	97.3.26	TO
3.	ココ・ジャンボ	ミスター・プレジデント	97.2.25	WJ
4.	ナイン・ライヴズ	エアロスミス	97.3.12	SME
5.	リサ・スタンスフィールド	リサ・スタンスフィールド	97.3.21	BMG
6.	ニュー・トランジスター・ヒーローズ	bis	97.3.26	SME
7.	レストレス・ハート	ホワイトスネイク	97.3.26	TO

※AL: アルファミュージック/AVT: エイベックス・ディーディー/BG: ビーグラムレコーズ/BM: ルームスレコーズ/BME: バンダイ・ミュージックエンタテインメント/BMG: BMGジャパン/C: 日本コロムビア/CR: 日本クラウン/CT: カッティング・エッジ/EP: ワン・アップ・ミュージック/EW: イーストウエスト・ジャパン/FH: ファンハウス/FL: フォーライフレコード/K: キングレコード/KT: キティエンタープライズ/ME: メルダック/MME: マーキュリー・ミュージックエンタテインメント/MV: MCAビクター/NA: NECアベニュー/PC: ポニーキャニオン/PG: ポリグラム/PI: パイオニアLDC/PO: ポリドール/PS: ポリスター/QT: パルコ/RO: ロックイットレコード/SME: ソニー・ミュージックエンタテインメント/TA: ニュートラス/TKD: TDKコア/TE: テイチク/TF: トイズ・ファクトリー/TJC: 徳間ジャパンコミュニケーションズ/TO: 東芝EMI/V: ビクターエンタテインメント/VAP: バップ/VF: ヴェルファーレ/WJ: ワーナーミュージック・ジャパン/XR: ゼロ・コーポレーション/ZA: ズァインレコーズ

■アルバム (37作品)

【邦 楽】

●3ミリオン

BOLERO/Mr.Children/97.3.5 (TF)

●クワドラブル・プラチナ

ハチミツ/スピッツ/95.9.20 (PO)
THE POWER SOURCE/JUDY AND MARY/
97.3.26 (SME)

●トリプル・プラチナ

BELOVED/GLAY/96.11.18 (PO)

●ダブル・プラチナ

Smile/岡本真夜/97.3.5 (TJC)
everlasting/Every Little Thing/97.4.9 (AVT)

●プラチナ

SPACE COWBOY SHOW/布袋寅泰/97.3.19 (TO)

Let's Go/ウルフルズ/97.3.26 (TO)

WOOL/SMAP/97.3.26 (V)

TRIAD YEARS act2 THE VERY BEST OF THE
YELLOW MONKEY/THE YELLOW MONKEY/
97.4.19 (C)

●ゴールド

NEON GENESIS EVANGELION II/高橋洋子 他/
96.2.16 (K)

SPIRIT/PAMELAH/97.3.26 (C)

HARVEST - SINGLES 1985 - 1992/米米
CLUB/97.3.31 (SME)

Treasury/中山美穂/97.4.9 (K)

NEON GENESIS EVANGELION III/高橋洋子 他/
96.5.22 (K)

【洋 楽】

●トリプル・プラチナ

メモリー・オブ・トゥリーズ/エンヤ/95.12.10 (WJ)
BIG, BIGGER, BIGGEST/~ザ・ベスト・オブ MR.
BIG/MR.BIG/96.11.25 (EW)

●ダブル・プラチナ

ライフ/カーディガンズ/95.3.25 (PO)
ファースト・バンド・オン・ザ・ムーン/カーディガンズ/
96.8.12 (PO)
ナイン・ライヴズ/エアロスミス/97.3.12 (SME)

●プラチナ

シェリル・クロウ/シェリル・クロウ/96.9.26 (PO)
ホワットエヴァー・アンド・エヴァー・アーメン/ベン・フ
ォールズ・ファイブ/97.2.5 (SME)
ココ・ジャンボ/ミスター・プレジデント/97.2.25 (WJ)
ダンスマニア・デラックス/E-ROTIC 他/97.4.10 (TO)

●ゴールド

エマーデル/カーディガンズ/94.9.24 (PO)
スウィート・ドリームス/ラ・プッシュ/95.10.21 (BMG)
霧田気づくり/クラウドベリー・ジャム/96.3.20 (QT)

マン・ウィズ・ザ・ファン/マキシ・プリースト/
96.4.24 (TO)

SEX AFFAIRS/E-ROTIC/96.5.9 (TO)

ネイキッド/ルイズ/96.7.24 (TO)

THE POWER OF SEX/E-ROTIC/96.8.7 (TO)

バイリンガル/ペット・ショップ・ボーイズ/96.9.14 (TO)

イマンシペイション/ジ・アーティスト・フォーマリ
ー・ノウン・アズ・プリンス/96.11.19 (TO)

ラヴ・イズ・ア・ワンダフル・シング/ファティマ・レイニ
ー/97.1.25 (EW)

ゴー!/フェア・ウォーニング/97.2.26 (XR)

パスト・プレゼント&フューチャー~ザ・グレイテスト・
ヒッツ~/C.J.ルイス/97.3.5 (MV)

ディグ・ユア・OWN・ホール/ケミカル・ブラザーズ/
97.3.26 (TO)

■シングル (23作品)

【邦 楽】

●トリプル・プラチナ

Red Angel/ポケットビスケッツ/97.1.22 (TO)

●ダブル・プラチナ

Go! Go! Heaven/SPEED/97.3.26 (TF)
渚にまつわるエトセトラ/PUFFY/97.4.16 (SME)

●プラチナ

残酷な天使のテーゼ/FLY ME TO THE MOON/高橋
洋子/CLAIRE/95.10.25 (K)

夢で逢えたら/ラッツ&スター/96.4.22 (SME)

夫婦みち/まごころの橋/オーロラ輝子(河合美智子)/
96.11.21 (C)

甘い運命/UA/97.2.21 (V)

1/2/川本真琴/97.3.21 (SME)

ゲンキダシテ/大黒摩季/97.3.26 (BG)

本気がいっぱい/KISS YOU, KISS ME/V6/Coming
Century/97.4.3 (AVT)

Give me a shake/MAX/97.4.9 (AVT)

●ゴールド

Successful Mission/林原めぐみ/96.10.23 (K)

たてがみ/長山洋子/96.11.7 (V)

明日、春が来たら/松たか子/97.3.21 (BMG)

砂の果実/中谷美紀 with 坂本龍一/97.3.21 (FL)

busy now/hitomi/97.4.9 (AVT)

Anytime smokin' cigarette/globe/97.4.9 (AVT)

NITE&DAY/黒夢/97.4.10 (TO)

MajiでKoiする5秒前/とまどい/広末涼子/97.4.15 (WJ)

明日は明日の風が吹く/LINDBERG/97.4.16 (TE)

そんなもんだらう/シャ乱Q/97.4.16 (BMG)

春が来た/Love Cupids/97.4.18 (TJC)

【洋 楽】

●ダブル・プラチナ

チェンジ・ザ・ワールド/エリック・クラブトン/
96.7.25 (WJ)

レコード生産実績

1997年4月度(97年4月1日～97年4月30日)

1. オーディオディスク

単位：数量：千枚・巻、金額：百万円

	4 月 実 績						1997年 (1月～4月) 累 計						
	数 量	構 成 比	前 年 同 月 比	金 額	構 成 比	前 年 同 月 比	数 量	構 成 比	前 年 同 期 比	金 額	構 成 比	前 年 同 期 比	
C	邦洋計	14,275	35	72	9,091	18	76	58,823	40	98	37,269	21	99
	8センチ	230	1	33	144	0	38	474	0	29	277	0	31
	計	14,505	36	71	9,235	18	75	59,297	40	96	37,545	21	97
D	邦洋計	17,649	44	152	30,049	59	172	59,057	40	115	98,942	55	122
	12センチ	8,158	20	81	11,611	23	82	29,101	20	89	42,255	24	90
	計	25,806	64	119	41,660	82	131	88,159	60	105	141,197	79	110
D小計	邦洋計	31,924	79	102	39,140	77	133	117,880	80	106	136,210	76	114
	洋	8,388	21	78	11,755	23	81	29,575	20	86	42,532	24	89
	計	40,311	100	96	50,894	100	116	147,456	100	101	178,742	100	107
アナログ	邦洋計	76	0	1,018	89	0	818	183	0	213	260	0	205
	洋	16	0	182	24	0	175	89	0	183	114	0	148
	計	92	0	561	113	0	461	271	0	202	374	0	183
合 計	邦洋計	32,000	79	102	39,229	77	133	118,063	80	106	136,470	76	114
	洋	8,404	21	78	11,779	23	81	29,664	20	87	42,646	24	89
	計	40,404	100	96	51,008	100	116	147,727	100	101	179,117	100	107

2. オーディオテープ

	4 月 実 績						1997年 (1月～4月) 累 計						
	数 量	構 成 比	前 年 同 月 比	金 額	構 成 比	前 年 同 月 比	数 量	構 成 比	前 年 同 期 比	金 額	構 成 比	前 年 同 期 比	
カセット	邦洋計	1,777	99	93	1,569	99	95	7,276	100	96	5,972	99	96
	洋	12	1	37	17	1	37	36	0	40	50	1	44
	計	1,790	100	92	1,586	100	93	7,311	100	95	6,023	100	95
カートリッジ	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	洋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	邦洋計	1,777	99	93	1,569	99	95	7,276	100	96	5,972	99	96
	洋	12	1	37	17	1	37	36	0	40	50	1	44
	計	1,790	100	92	1,586	100	93	7,311	100	95	6,023	100	95

3. 複合型CD (CDグラフィックス、CD-I、CD-ROMなど)

	4 月 実 績						1997年 (1月～4月) 累 計					
	数 量	構 成 比	前 年 同 月 比	金 額	構 成 比	前 年 同 月 比	数 量	構 成 比	前 年 同 期 比	金 額	構 成 比	前 年 同 期 比
邦 盤	9,609	100	168	1,908	100	101	41,755	100	154	8,509	99	102
洋 盤	2	0	16	7	0	17	39	0	76	116	1	71
合 計	9,611	100	168	1,915	100	99	41,794	100	154	8,625	100	102

4. ビデオレコード

	4 月 実 績						1997年 (1月～4月) 累 計					
	数 量	構 成 比	前 年 同 月 比	金 額	構 成 比	前 年 同 月 比	数 量	構 成 比	前 年 同 期 比	金 額	構 成 比	前 年 同 期 比
ディスク	855	29	75	2,415	23	79	3,754	34	87	10,543	29	86
テープ	2,050	71	116	8,244	77	126	7,176	66	100	25,593	71	105
合 計	2,906	100	100	10,659	100	111	10,930	100	95	36,136	100	98

5. オーディオ/ビデオ/AV複合型レコード合計

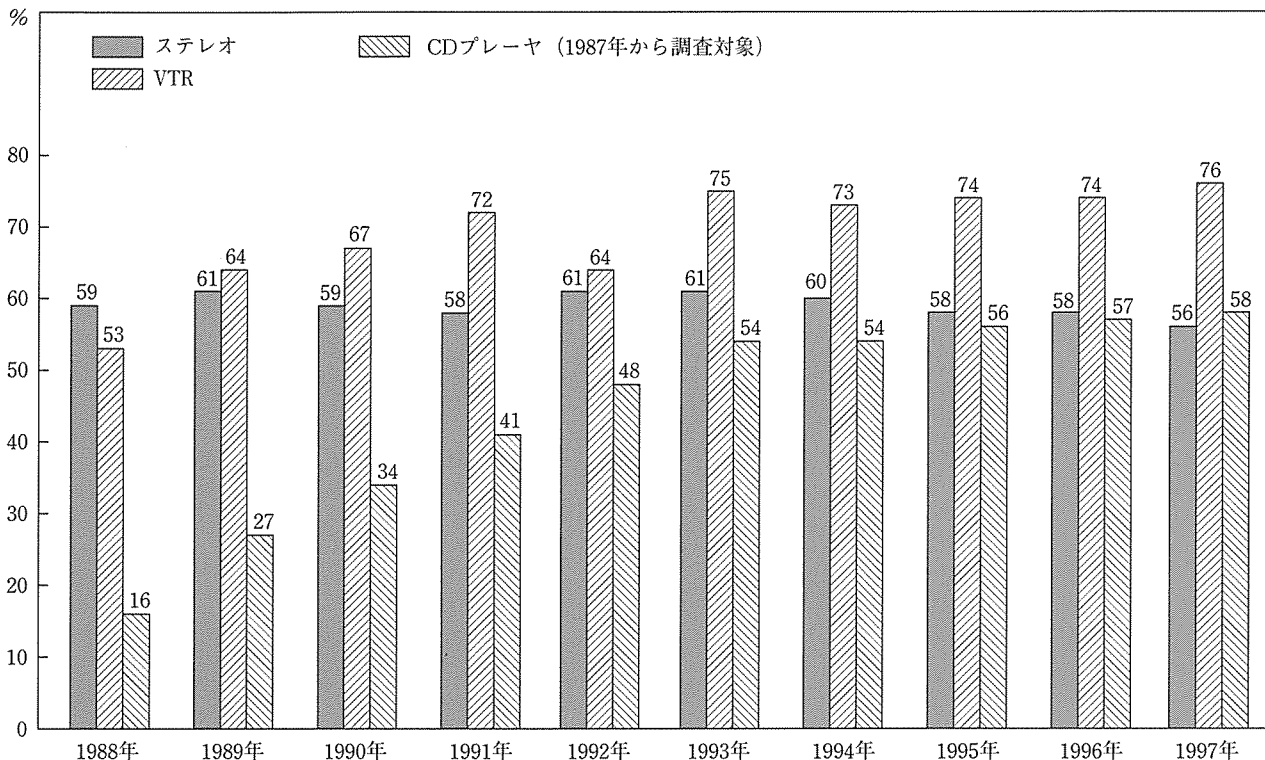
	4 月 実 績						1997年 (1月～4月) 累 計					
	数 量	構 成 比	前 年 同 月 比	金 額	構 成 比	前 年 同 月 比	数 量	構 成 比	前 年 同 期 比	金 額	構 成 比	前 年 同 期 比
オーディオ	42,193	77	96	52,594	81	115	155,038	75	101	185,139	81	107
複合型CD	9,611	18	168	1,915	3	99	41,794	20	154	8,625	4	102
ビデオ	2,906	5	100	10,659	16	111	10,930	5	95	36,136	16	98
合 計	54,711	100	104	65,168	100	114	207,762	100	108	229,900	100	105

備考 1. 本年実績は、会員会社「29社」の集計である。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

耐久消費財の保有状況

本号は、経済企画庁が毎年3月に全国の普通世帯を対象に行っている「消費動向調査」から、レコード産業に関連のある耐久消費財を中心に、その保有状況を紹介します。

ステレオ、VTR、CDプレーヤの普及率推移



(注) 経済企画庁「消費動向予測調査」より。ラジオカセットは92年以降調査なし。

地域別主要耐久消費財の保有状況 (1997年3月末現在)

単位: %, 台

地域	ステレオ	VTR	C D プレーヤ	ビ デ オ ディスク プレーヤ	カラオケ 装置	カ ラ ー テ レ ビ	ピアノ	電 子 鍵 盤 楽 器	
全 国	普及率	56.4	75.7	57.9	14.8	13.9	99.2	22.3	17.5
	保有数	80.7	110.8	75.9	17.4	15.0	219.9	22.7	18.7
北 海 道 ／ 東 北	普及率	55.7	72.9	54.7	13.0	18.3	99.3	16.2	15.9
	保有数	74.2	101.2	67.5	14.5	19.0	206.7	16.6	17.3
関 東	普及率	62.1	77.0	62.1	16.1	11.3	99.6	23.5	20.1
	保有数	90.8	113.4	85.6	19.3	12.9	211.7	23.8	21.4
北 陸 ／ 甲 信 越	普及率	53.9	72.3	51.2	19.8	13.4	98.9	25.6	16.9
	保有数	81.4	112.6	66.3	22.8	14.3	259.5	25.6	18.0
東 海	普及率	55.5	77.7	60.0	15.0	16.3	99.1	25.0	17.4
	保有数	83.7	119.5	81.9	18.4	16.8	238.4	26.2	18.1
近 畿	普及率	58.9	77.4	60.5	15.5	11.2	98.4	22.1	16.4
	保有数	85.2	116.4	77.9	18.6	12.5	215.4	22.8	17.6
中 国 ／ 四 国	普及率	51.8	79.9	56.9	13.1	15.4	99.2	23.8	17.1
	保有数	74.6	116.7	74.0	15.0	16.1	235.5	23.8	17.9
九 州 ／ 沖 縄	普及率	48.5	69.9	53.1	11.3	14.6	99.7	20.1	15.9
	保有数	63.0	93.4	64.3	12.1	15.8	196.8	20.7	17.0

(注) 経済企画庁「消費動向予測調査」より。保有数は100世帯当たりの保有台数。

レコード・CDの再販制度は、日本の音楽文化を育てています。

再販制度により、日本では数多くの作品が発売されています。それにより消費者(音楽ファン)には、「商品選択の場」が確保され、また、多くの作家、実演家には幅広いチャンスが与えられるとともに、次代を担う新しい才能が育まれています。

THE RECORD 1997年6月号

発行人 高野 宏

編集人 木村 三郎

発行日 1997年6月10日

発行 社団法人日本レコード協会

〒104 東京都中央区銀座7-16-3

日鐵木挽ビル2F

TEL 03-3541-4411(代)

FAX 03-3541-4460(代)

URL:<http://www.japan-music.or.jp/>